

①建築計画 | 観客席の形状及び観客の動線計画、避難計画等を含む建築計画

選手と観客の一体感の創出により、観客の声援が選手を高揚させ最高のパフォーマンスを引き出す環境を実現します。

1 すり鉢状の3層スタンド構成により、すべての観客が安全で見やすく臨場感あふれる観戦環境を実現します

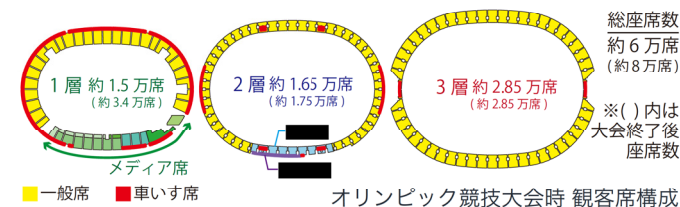


1 安全性と見やすさ、臨場感を共存させたスタンド構成

- 1層、2層、3層スタンドの角度を徐々に急にしていくことで、フィールドを包み込むような、すり鉢状の3層スタンド構成とし、選手と観客の一体感を創出します。
最も急な3層スタンドの角度は、約34度程度とし、安全性と見やすさ、臨場感を共存させます。

2 利用頻度の高い1, 2層スタンドで約5万席を確保した、最大約8万席の3層スタンド構成

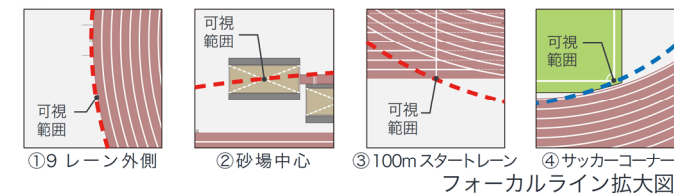
- 1層スタンドは大会時に約1.5万席、(大会後に約3.4万席)、2層スタンドに約1.65万席、3層スタンドに約2.85万席を計画し、大会時に約6万席、大会後には約8万席を確保します。
大会後、1, 2層スタンドのみで約5.15万席が確保可能な観客席形状とすることで、中規模大会でも3層スタンドを使用することのない、運営維持管理がしやすいスタンド構成とします。
大会後1層スタンドのみで約3.4万席もの多くの座席を配置することで、ピッチに近い迫力ある席を多く確保します。
360°連続した観客席形状により、ウェーブの途切れることのない観戦環境を整備します。
サービスレベルの高い十分な数のトイレを設置するとともに、様々な大会に応じて男女比をフレキシブルに変更することができるトイレ計画とします。



選手の躍動感が伝わる観戦風景イメージ

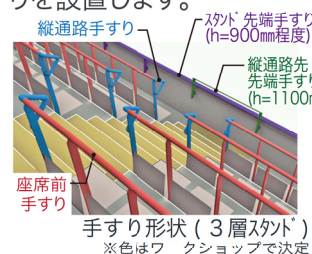
3 全ての観客席から競技空間が見やすいスタンド形状

- 陸上第9レーン、バックスタンドの幅跳び砂場中心、100mスタートレーン等の競技空間を、全ての観客席でC値60mm以上のサイトラインを確保した見やすいスタンドとします。
サッカーのコーナー部分4箇所についても同様に、C値60mm以上を確保します。
VVIP席では、全てのフィールド競技において、C値120mm以上を確保し、最上級のホスピタリティを提供します。



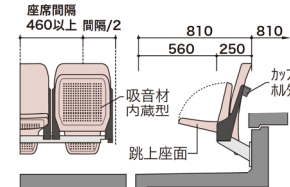
4 安全性と見やすさを両立させたスタンド手すり計画

- 全ての層の縦通路と勾配が急になる3層スタンドの座席前には、安全性を考慮し手すりを設置します。
スタンド先端手すりの高さは900mm程度、縦通路正面の先端手すりは1100mmと安全性を考慮しつつ、サイトラインに影響の少なく見やすい手すり形状とします。



5 充実した観戦環境を実現する座席計画

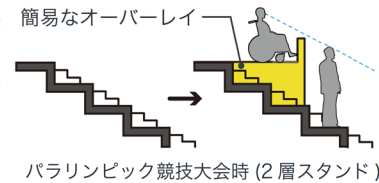
- 収益性の高い1層メイン・バックスタンドは、ゆったりとした480mm以上の座席間隔を確保し、段床幅は810mm以上の計画とすることで広い観戦スペースを実現します。
座席は強度・耐久性・耐候性があり、さらに燃えにくく安全性が高い合成樹脂ガスインジェクション成型品を採用します。
座席は吸音材内蔵型とし、大屋根の野地板に高圧木毛セメント板を使用することで、満席時(約8万席)に一般ドームと同等の残響音約5秒程度を確保します。



2 パラリンピック競技大会・大会終了後を見据え、各大会に応じた最適な観客席レイアウトを提案します

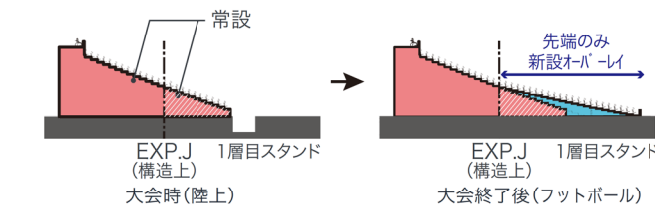
1 大規模改修が不要な車いす席計画

- オリンピック競技大会時において、フラットアクセス可能な車いす席を常設で約450席確保します。
パラリンピック競技大会時には、簡易なオーバーレイを一部施すことで約700席の車いす席を確保します。



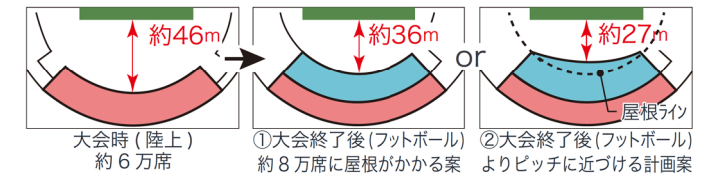
2 改修範囲の少ない大会後のスタンド計画

- 大会終了後は常設スタンドを改修せず、大がかりなオーバーレイが不要で、スムーズな転換が可能です。
1層スタンド先端に新設で約2万席分をオーバーレイすることで、約8万席スタンドに転換できる計画とします。



3 大会終了後サイドスタンドをよりピッチに近づける計画案

- ①: 屋根のかかった固定席で約8万席を確保。(サッカーゴールラインまで約36m)
②: 固定席で約8万席を確保。(屋根下約7.8万席・サッカーゴールラインまで約27m) (参考添付資料P02参照)



選手の迫力を肌で感じる観戦風景イメージ

3 アスリートファーストの理念の元、選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整備します

1 陸上競技者が、競技開始から終了後までストレスなく、集中力を高めることができる諸室配置計画

- 「①サブトラック」から連絡通路を通り「②選手更衣室」「③④練習用走路」へ最短距離でストレスなくアクセスできます。
100mスタートラインまで「競技者専用動線」で行くことで、雑音に邪魔されることなく集中力を高めた状態で競技に臨むことができます。
「⑤ミックスゾーン」「⑥ドーピングコントロール室」は100mゴールライン付近に配置することで、最短距離でスムーズに移動が可能です。

2 フットボール選手にとって快適な使いやすい、コンパクトな選手エリア構成

- フットボール選手専用のバス駐車場計4台をエントランスに面して設置し、チーム更衣室へすぐにアクセスできる計画とします。
FIFA推奨の動線ダイアグラムに適合した、メディアや他の利用者と交錯しない選手ゾーニング計画とし、ストレスなく精神集中のしやすい環境を整備します。

3 使いやすく快適で充実したチーム更衣室

- 1つのチーム更衣室で30人収容のロッカーを備え、ラグビー1チーム全員でミーティングができる空間を提供します。
利用頻度の高い2つの更衣室は、ミックスゾーンから直接チーム更衣室に、アクセス可能な計画とします。
ラグビー選手および、サッカー選手用のアイスバスが設置可能な広々とした浴室スペースを確保します。
試合後の監督は選手専用廊下を介して、メディアと動線交錯することなく、直接記者会見室に移動できる計画とします。
更衣室2室からウォームアップスペースに、それぞれ直接アクセスできる配置計画とします。

4 選手の最高のパフォーマンスを演出する、快適なピッチコンディションを整備

- 均等散水を目的としたポップアップスプリンクラーと、均等排水が確実に行える排水設備を設置し、良好な天然芝を育て、選手の最高のパフォーマンスを引き出します。
さらに、芝育成補助システムとして地中温度制御システム、LEDグローイングライト、大型送風機を導入し、最高のプレーを引き出すスポーツターフ(芝)とします。